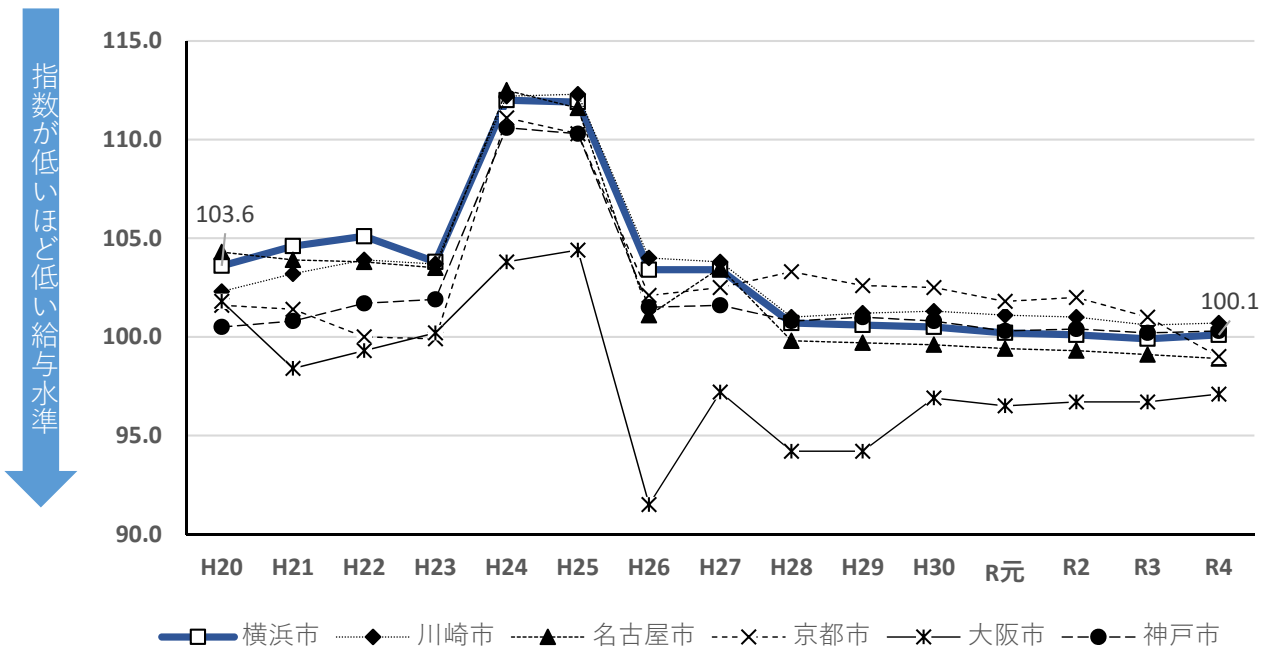


5 ラスパイレス指数

- ラスパイレス指数は、国家公務員行政職の給与を100とした場合の地方公共団体の一般行政職の給与水準を示す指標です。ラスパイレス指数が100を超えるほど、国家公務員の給与水準より地方公務員の方が高いこととなります。
- 本市のラスパイレス指数は令和4年度で100.1となり、国家公務員の給与とほぼ同水準で、比較団体の中でも中位の水準となっています。平成24、25年度は国家公務員の給与が東日本大震災による復興特別措置により平均で7.8%削減されていることからすべての類似団体において相対的に高くなりました。また、大阪市のホームページによれば、平成21年度から財政健全化に向けた給与見直しを実施している影響で低い水準になっていると考えられます。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
横浜市	103.6	104.6	105.1	103.8	112.0	111.9	103.4	103.4	100.7	100.6	100.5	100.2	100.1	99.9	100.1
川崎市	102.3	103.2	103.9	103.7	112.2	112.3	104.0	103.8	101.0	101.2	101.3	101.1	101.0	100.6	100.7
名古屋市	104.3	103.9	103.8	103.5	112.5	111.6	101.1	103.5	99.8	99.7	99.6	99.4	99.3	99.1	98.9
京都市	101.6	101.4	100.0	99.9	111.1	110.3	102.1	102.5	103.3	102.6	102.5	101.8	102.0	101.0	99.0
大阪市	101.8	98.4	99.3	100.2	103.8	104.4	91.5	97.2	94.2	94.2	96.9	96.5	96.7	96.7	97.1
神戸市	100.5	100.8	101.7	101.9	110.6	110.3	101.5	101.6	100.8	101.0	100.8	100.3	100.4	100.2	100.3

※当該年度中最も低い指数（給与水準が低い）を網掛け

◆ 算定式

$$\text{ラスパイレス指数} = \frac{\text{地方公共団体の学歴別、経験年数別月額平均給与} \times \text{区分ごとの国家公務員職員数}}{\text{国の学歴別、経験年数別月額平均給与} \times \text{区分ごとの国家公務員職員数}}$$